

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

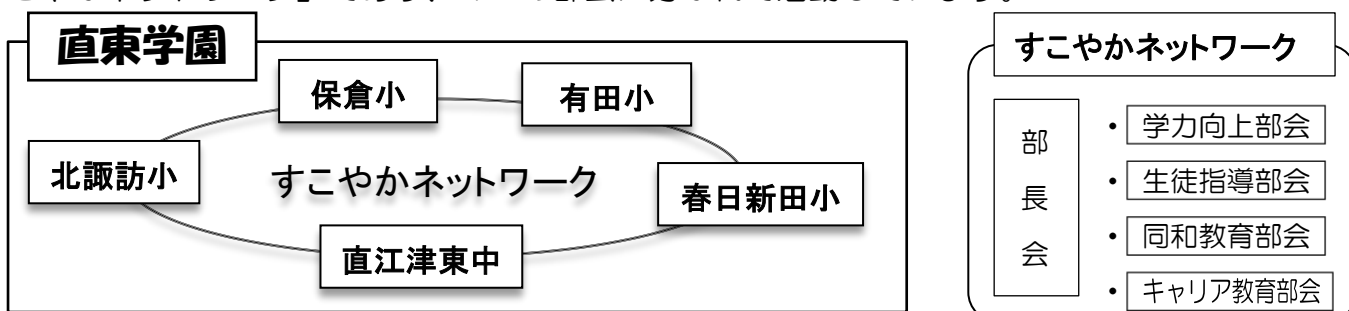
直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和3年度 第2号
令和3年6月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL 025-543-2729
FAX 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

「すこやかネットワーク」とは？

直江津東中学校区には下図のように5つの学校があり、この5校が一つになって「直東学園」がつくられています。さらに学園内5校の教職員が力を合わせるために作られた連携組織が「すこやかネットワーク」であり、4つの部会に分かれて活動しています。



すこやかネットワークの目的

1 同じ目標に向かって小・中全教職員が協力するため

中学校と小学校がばらばらな方針で教育活動を行っているとき、子どもたちの成長を考えたときに効果的とはいえません。小学校と中学校の教職員が相談して、同じ目標を立て、そこに向かって協力して取り組むことにより、大きな教育効果が得られます。すこやかネットワークは直江津東地域の子どもたちの力を伸ばすためにつくられました。

2 様々な課題に対応するため

一口に子どもたちの力を伸ばすといっても学力をはじめとして様々な力があります。また、豊かな心の育成も重要な課題です。大切な力を育成するためにすこやかネットワークでは上の図のように4つの部会を設置しています。小学校と中学校の教職員が各部会に分かれ、協力してそれぞれの課題に取り組んでいます。

3 地域と心ひとつに子どもたちを育てるため

青少年育成会議、直東学園運営協議会などとすこやかネットワークがつながることにより、地域の皆さんと教職員による大きなネットワークができます。直東学園全体で心ひとつにして教育活動を進めることをすこやかネットワークは目指しています。

4 小中一貫した教育を目指すため

直江津東中学校区の5校が連携し協力するためにつくられたすこやかネットワークですが、上記の4つの全ての分野において、9年間の一貫したカリキュラムを作成・実践し、小中一貫した教育を推進しています。

キャリア教育部会の取組

R3年度もキャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進が、直東学園の重点目標です。

直東学園5校とともに特色ある教育活動としてキャリア教育を大切にします。生活科・総合的な学習の時間を核に、教育活動全体を通して地域に根差した教育を推進します。

1 キャリア教育でねらう資質・能力の育成を目的とした、生活科・総合的な学習の時間を中心にした単元づくりや実践の積み重ね

・キャリア教育で育む資質・能力は次の5点。

① 人間関係形成・社会形成能力

② 自己理解・自己管理能力

③ 課題対応能力

④ キャリアプランニング能力

⑤ 郷土愛（⇒新潟県として強調）

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的にし、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が学び合う、「マスコミ学習」（5年）等を行います。



令和2年度は
コロナ対策で
ZOOMで開催

【5年「マスコミ学習」R2.12.7】

2 キャリア・パスポートの周知と活用

- ・教職員や保護者への周知と、実践を通して取り組み方を改善していきます。

3 地域の教育資源を生かした活動の構想

- ・学園支援本部の協力を得ていきます。
- ・地域の事業所の協力を得て、地域の人財を生かした授業づくりを進めます。

4 多面的な評価と改善

- ・教職員の評価と、児童生徒、保護者、学校運営協議会委員などの意見を参考に、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

生徒指導部会の取組

小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、今年度も以下の3点に取り組みます。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校の規模や実態に合わせ、集団の中でリーダー、フォロワーとしての役割を果たし解決する活動に取り組みます。小学校では縦割り班活動や集会活動、中学校では生徒会活動や学年活動の充実を図ります。

2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

定期的に担当者が集まり、子どものことについて情報共有し、協力し合って指導します。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図ります。

3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

集会を通して一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」意識を高めることを目指します。今年度は、11月22日（月）に開催する予定です。集会には、小学校6年生と中学校1年生が参加します。



【令和2年度いじめ見逃しゼロスクール集会】

上の写真：保倉小の取組についての発表している様子

下の写真：小・中学生がグループで意見交換している様子

学力向上部会の取組

小中学校9年間を見通した学びを念頭に置きながら確かな学力を育成します。

1 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析と課題の明確化、共有化

各校の結果を踏まえ、成果と課題を分析し、学園内共通取組の内容を検討します。

2 研修会・学校間授業研究交流会による授業力の向上

- (1) 中学校区一斉研修会：6月3日（木）
「令和の日本型教育」を実現させるため、個別最適な学びと協働的な学びをどう実現するか、教科ごとに意見交換します。



【R3年度 一斉研修会】

- (2) 学校間授業研究交流会：9月15日（水）
市授業改善支援訪問 春日新田小学校
(3) 中学校から小学校への出前授業

3 家庭学習の充実

- (1) 「学年×10分」の徹底
(2) 「家庭学習の手引き」などの共通取組
(3) スタディ&アウトメディアウイークの実施 ※年3回実施

4 規律のある落ち着いた学習習慣づくりの推進

○「学習の約束10カ条」の徹底

5 アウトメディアデーの実施（毎月10日）

6 「ゲーム機とネット機器に関するアンケート調査」の分析と取組内容の確認

児童生徒の実態調査をもとに、より望ましい生活習慣づくりに資する実践内容を確定し、学園内の共通実践を進めます。

同和教育部会の取組

差別や偏見、誹謗中傷が身近なところでも横行し、同和教育の重要性が改めて見直されています。この先、児童生徒が様々な場面で直面する差別事象に対して、「間違っている」「差別や偏見は許せない」という正しい判断ができる知識と実践行動力を身に付けることが求められます。そこで、研修主題を「日常生活の中にある差別に気づき、差別をなくすために行動しようとする子どもの育成」に設定しました。その実現のために、主に次の3点に取り組みます。

1 教職員が差別の現実を知り、人権感覚を研ぎ澄ますための研修への参加

同和教育の授業力向上は、教師自身が差別の現実を知り、人権感覚を研ぎ澄ますことから始まります。そこで、現地学習会、全人教新潟大会、各種研修会への積極的な参加を促します。また、各校独自での講演会や研修会の実施、授業研究を行います。さらに、同和教育部会で数年間蓄積してきた実践ミニレポートを活用し、授業実践に役立てていきます。

2 児童生徒が差別と向き合い、自分の生き方を見つめ直す講演会の実施

11月16日に4小学校の6年生全員、11月25日に中学生全員を対象に、人権・同和教育講師の中倉茂樹さんをお招きした講演会を実施します。本気で語りかけてくださる中倉さんの講演は、児童生徒の心に強く響くことと思います。

3 家庭、地域と連携した取組の推進

実践行動力に結び付く人権感覚を育むためには、学校と家庭、地域が、同一歩調で取り組むことが必要です。教職員、保護者、地域の皆様がともに学ぶ場を大切にし、地域全体で人権感覚を高めていきます。

春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月7日（水）～15日（木）に実施したあいさつ運動は、コロナ禍のため、感染症対策を最優先に行いました。皆様のご協力ありがとうございました。町内会役員、交通安全協会、民生委員・児童委員、PTA、地域の皆様からアンケートに回答していただいた結果です。

1 立哨中に出会った大人の方とあいさつを交わしましたか。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
87%	13%	0%	0%

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にした	ウ 相手が先にした	無回答
57%	40%	3%	0%

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にした	ウ 相手が先にした	無回答
47%	53%	0%	0%

町内会長さんからお電話で「とても気持ちのいいあいさつ運動だった。朝から児童の元気な大きな声で一日が始まった」と嬉しい感想をいただきました。

上越市地域活動支援事業が採択されました。

令和3年度の直東学園の上越市地域活動支援事業への提案は2つです。保倉区、北諏訪区、有田区の3つの地域協議会にまたがる提案です。

一つ目は、「直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」です。地域として学校を応援する手引きとなる「学園要覧」や令和4年度小学校新入生用の「教育ハンドブック」を作成します。

二つ目は、「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。児童生徒の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の様々な活動を支援します。

児童生徒は主に4つの活動を行います。

- (1) 5つの学校に共通する活動：妙高自然の家で自然体験や遠足での「仲間づくり活動」等
- (2) 4小学校共通活動：「マスコミに学ぶ」、「1/2成人式」
- (3) 各小学校の特色ある活動：地域の方と関わり合いながら体験をする「地域の人に学ぶ」等
- (4) 中学校の特色ある活動：卒業生から職業や生きがいについて学ぶ「ようこそ先輩」
「立志式」

事業費は、一つ目は45万8千円、二つ目は362万6千円で申請をしました。

5月25日（火）保倉区、5月27日（木）北諏訪区、5月31日（月）有田区でのヒアリングに出席し、それぞれの協議会でいずれの事業も採択されました。

お知らせ 第1号で掲載した内容については、委員の一部変更を含め、直東学園運営協議会書面議決にて承認されました。1年間よろしくお願ひします。